

取組の概要

健康経営は職員への健康投資が大きい。職員の活力や職場の活性化など感じられ、病気などで休む職員も減った上に、高齢者にも働きやすい環境にしてきた事で、生産性向上や企業イメージアップなどメリットを感じられる。長く安心して働ける企業をめざしている。

グループについて

人数：98名

年齢層：10～80歳代

活動年数：昭和50年から47年
(月1回以上)

取組の詳細

【健康診断・がん検診】：健康診断の受診率100%

健康診断の予備日を設けている。予備日に受診出来なかった職員は産業医の病院を受診する等の取り組みを実施。保健指導は就業時間内に実施。二次検診は時間休を取って受診可。

【休暇制度の充実】：子の看護休暇や育児のための休暇、妊活に伴う休暇制度などを積極的に導入。新型コロナに罹患した場合や濃厚接触となった場合でも特別有給などで安心して休める環境づくり

【健康維持】：ジムに通う職員への利用料補助／事務系職員への万歩計貸与で健康チェック
職員それぞれに合った健康づくりが出来る様に会議（女性会議など）で案を出して挑戦している。

【その他】：熱中症対策(各工事現場に対策グッズの設置、空調服等の支給)、新型コロナ対策など
現場単位での活動が多く現場事務所にも空気清浄機や各種消毒設備、検温設備などを設置、
インフルエンザなどの予防接種費用の補助など行っている。



<主体性>

毎月の全体朝礼ではトップが健康管理についての講話や健康診断の二次検診の推奨、禁煙の奨励、熱中症対策の徹底などを周知

<独自性>

2～3年前から実施している女性会議（事務系、管理系職員7名）で出た意見を全体会議で取り上げ、万歩計貸与や、ジム利用料補助の取組が実現した。女性職員が意見を出し合い建設業にとられない柔軟な発想で取り組んでいる。

<地域貢献度>

職員だけでなく子供や家族のワクチン接種補助や妊活に伴う有給制度など、法的要求以上の制度を積極的に取り組み、地域建設業・企業の模範となるよう努力している。

<将来性>

生活習慣病（がん）に罹っても、治療を続けながら働ける休暇や補助制度があり。高齢になっても本人に合った働き方が選べる等、職員が長く安心して働ける企業を目標にしており、地域建設業の未来像として業界、地域を牽引している企業をめざしている。

PR ポイント

- ・経営トップが健康経営を目指すため職員の前で禁煙宣言をし健康経営に取り組んでいる。
- ・体を使う建設業界にあっても、全員参加の健康診断の結果をしっかりと活用して二次検診や健康指導などを積極的に受け健康管理を行っている。
- ・家族の予防接種などの健康管理のための休暇や補助制度も導入し安心して長く働ける建設会社をめざしている。